

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 多摩市立聖ヶ丘中学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例: 小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒206-0022

東京都多摩市立聖ヶ丘中学校

E-mail _____

Website _____

幼児児童生徒数 男子 143名 女子 140名 合計 283名

幼児・児童・生徒の年齢 13歳 ~ 15歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

本校はESD教育を推進し、ESD教育を通して人や社会、自然とのつながりを学び、自己有用感を育むことを目標とした。具体的には①防災教育、②グリーンカーテンのエコ活動を実施し、コミュニケーションを行う力、他者と協力する態度、つながりを尊重する態度を育みたい力として掲げ、活動を行った。

① 防災キャンプ

防災教育の一環として、防災訓練を通し、自分の身は自分で守る術と、地域に貢献できる態度を養うことを目的とし、平成29年7月21、22日に本校2年生全員を対象として防災キャンプを実施した。生徒たちは各自準備した「防災自衛パック」を持参し、震災発生で本校が避難所になった時の疑似体験を行った。

防災キャンプ事前学習では、高齢者疑似体験や地域の高齢者施設の訪問・交流会を通して、高齢者理解を深め、震災時の高齢者支援について学んだ。

当日の防災キャンプでは AED 講習や防災講習から実践的な知識を学んだり、非常食の「アルファ米」を炊き出し、地域の方々や小学生と協力して準備し、震災時の避難所生活を体験した。地域の方や小学生と協働して行う講習や体験を通して、震災時の自助・共助について実践的に学ぶことができたことが成果として挙げられる。今後も常に震災に対しての危機意識をもたせ、主体的に地域の方々と協働しながら避難所運営ができる人材を育てていくことが必要だと感じた。

② 腐葉土を活用したグリーンカーテンづくり

多摩市役所環境部、恵泉女子学園大学、農業委員の方々の協力を得てゴーヤ栽培によるグリーンカーテンのエコ活動を行った。地球温暖化と防止策、肥料の作り方、グリーンカーテンについての講義（4月）、給食の牛乳パックを使用したゴーヤの種まき（5月初旬）、花壇づくりや苗の植え付け（5月下旬）、観察・収穫（7・8月）、落ち葉による堆肥作り（12月）の流れで環境について学んだ。環境問題への関心意欲を高めるとともに、将来よりより環境を創造するための働きかけができるような実践力を培うことにつながった。



① の写真 初期消火訓練



② の写真 落葉による堆肥づくり

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

各教科や総合的な学習の時間、特別活動、道徳の時間において、年度当初に ESD カレンダーを作成し、年間を通じ、各担当が計画的に ESD 教育に取り組んでいる。また、作成した ESD カレンダーは教育計画のファイルに綴じ込み、教科横断的な指導計画を立てやすくするため、いつでも全教員が確認できるようにしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

本校では ESD 担当が設置され、担当が研修や授業参観等に参加して得た情報を自校の教職員に伝達し、ESD 教育の推進を図っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

各活動の事後学習として、生徒の振り返りシートや教職員アンケートを実施している。振り返りシートの内容は、学習を通して、分かったこと、気づいたこと、思ったことを書くというものである。また、年間2回、学校活動についての保護者アンケートも実施している。振り返りシートやアンケート結果を見ると、様々な活動を通して、やりがいや苦労を実感することができた、自分たちの問題として考え行動していく必要を感じたなど、前向きな意見が多く伺えるため、今後も継続していく必要があると感じる。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

多摩市が発行している ESD 実践事例集により、本校が実施している ESD 教育を発信している。発信することにより本校の活動について振り返り、成果や課題について再確認するとともに、今後の ESD 教育につなげられている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

防災教育については、多摩市社会福祉協議会、多摩消防署、多摩市防災安全課、青少協連光寺、聖ヶ丘地区委員会の方々の協力をしていただいた。また、グリーンカーテン作りにおいては、多摩市役所環境部、恵泉女子学園大学、農業委員の方々の協力を得て活動を行った。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

ユネスコスクールである多摩市の小中学校間では、年に数回 ESD 研修を実施し、各校の ESD 実践報告を行ったり、情報交換を行ったりしている。今後は市外、海外の学校ともネットワークの構築が図れるよう、積極的に研修に参加したり、情報収集していく。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

本校では2学年を対象とした防災キャンプを6年間継続して実施している。毎年多くの地域コミュニティや小学生が中学生と協働しながら活動に参加してくれている。またその数は年々増加している。今後も地域コミュニティの協力を得ながら、活動を継続していくとともに、地域での自発的な支援活動や他のボランティア活動への積極的な参加や地域住民としての防災意識につなげていきたい。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

来年度も今年度同様に、防災教育とグリーンカーテン作りを継続して行う予定である。